

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域とのつきあいについて、地域の小学校との定期的な交流会が暫らく中断していたが、学校側と交渉相談をし、なんとか再開できた。しかし、学校側も授業の都合等あり、今後定期的に(年2回か3回)継続して行えるか不安がある。	利用者様のためにも、今後定期的な交流の機会を維持していきたい。	学校側と随時連絡を密にし、交流会を定期的に継続して行えるよう努める。また、必要時は地元住民の方の協力を得て、学校側との調整を図っていただく。	12ヶ月
2	49	日常的な外出支援においては、以前はほとんど行えていなかったが、1年程前より徐々に実現に向け努力している。個々の希望に応じて行きたい飲食店や、スーパーへも出向いているが、偏った利用者に限られている傾向がある。	身体能力や認知症の度合いにかかわらず、どの利用者も均等に外出できるよう支援したい。	希望等を自己表現できない方も、過去の生活歴やご家族からの話し、表情等からニーズをキャッチし、その方の行きたい所への外出支援を図る。現在、偏った利用者だけの外出を、利用者全員が平等に外出していただけるよう取り組む。	6
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。